

項目	内容
名称	ヤナギトウワタ [英]Pleurisy Root、 Butterfly Weed、 Canada Root、 Flus Root [学名]Asclepias tuberosa L.
概要	ヤナギトウワタ (柳唐綿) はアメリカ南部原産のガガイモ科の多年草で、高さ50～100 cm程度に生長する。主に葉および根が用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・カルデノライド配糖体 (フルゴシド (frugoside) 、 glucofrugosideなど) (33) (101)、プレグナン配糖体 (PMID:10923833)、フラボノイド類 (33) などを含む。</p>
分析法	<p>・根に含まれるプレグナン配糖体をNMRにて同定した報告がある (PMID:10923833)。</p>
有効性	
ヒトの循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。
の消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson (PMID:10923833) Chem Pharm Bull. 2000 Jul;48(7):1017-22.	